

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひろば		公表日		R 8年 3月 16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		身体活動の段階に応じてエリア分けを行っている。	今後、児童の成長に応じて物の配置やスペースの確保が課題。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		不足のないように配置しています。PT、OTによる活動や補装具のチェックも行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーになっており、複雑な構造にはなっていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		適宜清掃を行い、使用する物品及び触れる場所は定期的に消毒を実施。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて隣接する部屋や相談室の使用は可能。パーソナルスペースが確保できるように工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		スタッフ間で情報共有を行い、必要に応じて話し合いの場を設ける体制をとっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート回収後、どのような意見があるか、スタッフに周知し、改善可能な項目に取り組んでいる。	体制上、実施困難な事例も多く、地域交流に関しては課題となっている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		何かあればすぐに連絡、相談できる体制をとっており、スタッフ間での情報共有は密に行うように努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現状、外部評価は実施していません。今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内で各種委員会が開催されており、参加及び資料確認を実施。	今後、支援の質の向上に向け、様々な外部研修等にも積極的に参加できる体制を検討していきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		法人のHP上で公表しています。	個別支援計画の見直し時期に追って保護者にも個別に説明していく予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		送迎時等、保護者と定期的に話す時間を設け、児童の様子や状態に合わせて適宜計画を見直している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ間で情報共有を行い、現状の課題や配慮すべき点を共通認識として理解しサービス提供する様に努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		スタッフ間で情報共有を行い、現状の課題や配慮すべき点を共通認識として理解しサービス提供する様に努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		現状ツール等は用いておらず、今後必要に応じて検討していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者とアセスメントを行いながら、各項目にあてはめて支援内容を検討している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフ間で情報共有を行い、現状の課題や配慮すべき点を共通認識として理解しサービス提供する様に努めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			ルーティンでの行動が必要とされる児童も多く、必要なケア内容等、日々変わらぬ支援が必要なケースが多い為、固定となることも多いが、日々の様子に合わせて工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		行える範囲で集団で野外活動をおこなったりしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前には、当日利用予定児童の情報や連絡事項を共有し、支援活動時間内も声掛け等を行いながらチーム支援を行っています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援時の様子や送迎時の様子等、その日の活動を振り返り、スタッフ間で共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は保護者のニーズにも合わせて個別に記録し、保管しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行いながら計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		個別に課題を話し合い、様々な視点から支援できるように支援内容を工夫しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選択肢を設けた質問や、意思決定を支援するような声掛けを意識しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		しっかりと理解しているスタッフが参加する様にしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて密に連携できるように連絡体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者との情報共有や、学校との連携をしっかりと行い、適切に対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		移行支援に関しては必要な時期に必要な機関と連携を取りながら、情報共有を図り、移行後も経過報告等実施しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて適切に対応しています。事前の見学や情報共有も積極的に受け入れています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて様々な関係機関と連携をとり、研修会にも参加できるように努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○			必要に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時を中心に保護者との情報交換に加え、学校とも連携を図り共通認識をもつようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			助言やかかわり方に関して適宜伝えているが、研修会等は企画できていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に適切に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングや日々の交流を通して確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画の見直しの際に説明する様に努めています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時面談も受け付けていますが、日頃から話す機会を設けて保護者支援も行うようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			保護者会等、現状実施できていません。要望をお伺いしながら検討していきたいと思えます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口も設けており、保護者からのヒアリングをこまめに行い、未然に防げるように努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			不定期に通信の発行行っていますが、個人情報の観点からも積極的な発信は行えていません。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分配慮しています。	
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		出来る限り配慮しています。		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		事業所の行事は実施していません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に見直し及び消防訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定し、避難訓練等実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		定期的を確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現状対象児童がおらず、食事やおやつは自宅から持参するため対応非実施です。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全に十分留意しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		情報に関しては情報共有を行うようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		法人内でウェブシステムを利用したインシデント・アクシデントの報告書システムを活用しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内に委員会設置し、研修会等実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		必要に応じて法人内の仕組みに乗っ取り対応していく予定です。	